

補助金申請システムの開発状況・ 自治体への展開に向けた取組について

令和元年 8 月 22 日

内閣府規制改革推進室

総務省

経済産業省

中小企業庁

7月31日（水）、「中小企業の行政手続簡素化関係幹部打合せ」を開催し、「補助金申請システムの展開」及び「社会保険手続へのID／パスワード方式の導入」について議論。

1. 補助金申請システム（Jグランツ）の開発状況

- 補助金申請システム（Jグランツ）のプロトタイプ版（執行に必要な基本機能を実装、19年3月完成）を利用し、改善点・追加開発事項の抽出のためのモニターテストを実施（19年6～7月）。
- 開発の進捗状況に鑑み、以下のとおり、運用開始時期を見直し。当初の予定通り、19年度中の中小企業向け3補助金（※）での利用開始、20年4月からの各省庁・有志自治体での利用開始を目指す。

（※）ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金、小規模事業者持続化補助金、IT導入補助金

○Jグランツの運用開始時期

- ・19年9月末 : プロトタイプ版をベースに、申請者向けの操作画面や機能を提供。
- ・19年12月中旬 : 中小企業向け3補助金（19年度補正事業を想定）に間に合うよう外部審査機能等の事務局機能を提供。また、UI/UXを改善。19年度中の利用開始。
- ・20年4月 : 事務局側の処理機能拡充、UI/UXをさらに改善。各省庁・有志自治体での利用開始。

2. Jグランツの自治体展開に関する取組状況

- 自治体への展開については、FS調査に参加意向を示した30自治体のうち、23自治体がモニター調査を実施。
- その後に行ったアンケートや直接訪問における自治体側からの主な意見は、以下のとおり。
- 関係省庁間で対応方針を決定し、引き続き、総務省と中小企業庁で連携して自治体への働きかけを行っていく。

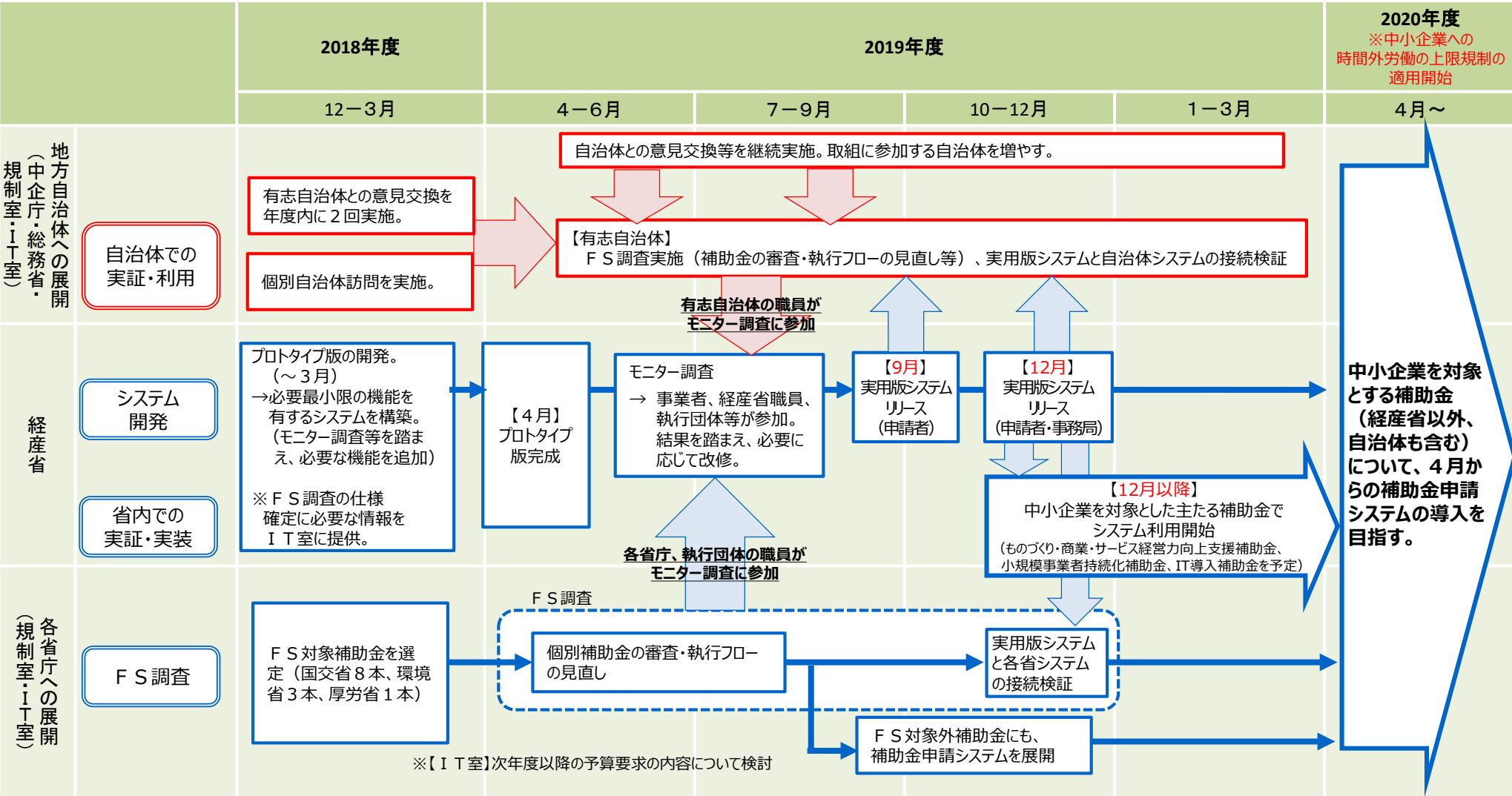
○Jグランツの導入に際しての課題

- ・システムの機能（検索、出力、外部審査、エラーチェック等）の充実。
- ・システム環境の整備や情報セキュリティの対応が必要。
- ・自治体の既存業務システムとの接続。
- ・補助金の申請件数が少ないので費用対効果の面で検討が必要。
- ・補助金申請システムの導入に際して、補助金交付要綱や文書管理規程などの見直しが必要。
- ・事業者のITリテラシーに差が大きい。事業者によっては、スキャナーの導入等の費用負担が発生。サポート対応が必要。

※下線は今回のアンケートや直接訪問で新たに得られた意見。

行政手続簡素化工程表の進捗状況

○補助金申請システムの展開スケジュール



【経産省の補助金で2020年度から導入予定の補助金】 技術協力活用型・新興市場開拓事業費補助金(社会課題解決型国際共同開発事業)、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金、伝統的工芸品産業支援補助金、石油ガスの流通合理化及び取引の適正化等に関する支援事業費、災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点の整備事業費、離島・SS過疎地等における石油製品の流通合理化支援事業費(離島のガソリン流通コスト対策事業費)、石油製品安定供給確保支援事業、省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(エネルギー使用合理化等事業者支援事業)、省エネルギー設備投資に係る利子補給金助成事業費補助金、小規模事業者対策推進事業(地域力活用新事業全国展開支援事業)、国内・海外販路開拓強化支援事業費補助金、事業承継・世代交代集中支援事業

【国の補助金のFS調査の対象補助金】

【国土交通省】住宅市街地総合整備促進事業費補助(長期優良住宅化リフォーム推進事業)、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、自動車事故対策費補助金、低公害車普及促進対策費補助金、住宅市場整備推進等事業費補助金、住宅・建築物環境対策事業費補助金、船員雇用促進対策事業費補助金、訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金(宿泊施設インバンド対応支援事業)

【環境省】低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業、エコリソース促進事業、二酸化炭素削減ポテンシャル診断推進事業 【厚労省】臨床研修費等補助金

※合計24補助金。事業名は2018、2019年度時点のもの。今後、2020年度予算要求に係る調整等により、対象とする補助金を見直す可能性有。

○社会保険手続へのID/パスワード方式の導入に向けたスケジュール

